

# 学校だより いらかば



第11号

令和8年 1月30日  
西興部中学校

## 「令和8年はどんな年になるでしょうか？」

校長 堀内篤宏

本校生徒、保護者及び地域の皆様方が健やかに新年を迎えたことに感謝したいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、令和も8年目を迎えました。今一度、「令和」という元号のもつ意味や願いを改元の経緯等を、改めて調べてみました。元号の出典は、「万葉集」で、梅花の歌（梅花歌三十二首并序）の序文「初春令月、氣淑風和（初春の令月にして、氣淑く風和らぎ）」だそうです。この「令和」となるまでに出典が判明している元号は77あるそうですが、これまでにはすべて中国の古典に由来するそうです。この「令和」が初めて和書に由来する元号となったそうです。「令」には、「よい」とか「素晴らしい」「めでたい」といった意味や「命令」の意味があり、「和」には「穏やかな」とか「和らぐ」「平和な」といった意味があります。「令和」には、「世界が調和され、世の中を平和にし、その平和が永遠に達成される」というメッセージが込められている。」ということが言われていました。また、「和」の字が元号に使用されたのは20回目であるが、「令」の字が元号に使われたのは初めてだそうで、そこからもいつの時代も「平和で穏やかな世の中」が求められてきたことがわかります。また、「令」の字からはその意志の強さが伝わります。改めて令和8年がそのような年になることを願い、また、今を生きる私たちみんなでそのような年にしていこうとする強い意志を持っていくことが大切であると思いました。

始業式では生徒に「令和8年の目標」をたてましたか？4月に迎える進級につながる目標がたてられると良いですね。」との話をしました。学校だより第7号でもお願いしましたが、お子様発信の「進路の家族会議」を年に数回お願いします。目標を持って学習へ取り組む姿勢が育ちます。

保護者、地域の皆様には本年も西中の生徒たちへの御指導、御支援をよろしくお願いいたします。



## 2月 行事予定

- 1日 (日) 紋別支部吹奏楽フェスティバル  
2日 (月) 全校集会  
3日 (火) 職員会議  
4日 (水) 学力テスト 職員会議  
5日 (木) P T A 役員会理事会 スキー授業  
6日 (金) 参観日  
9日 (月) 研修日  
スキー授業 (予備日)  
11日 (水) 建国記念の日  
19日 (木) 1・2年生後期期末テスト ~20日  
20日 (金) 委員会活動日  
23日 (月) 天皇誕生日  
24日 (火) 給食講話  
25日 (水) 職員会議

## スキー授業始まりました

1月に入り、暖かい日もあり、少しばかり心配でしたが積雪も十分に、無事スキー授業を行うことができました。生徒たちは自分の技術力を上げようと頑張る人も、みんなで滑ることの楽しみを味わう人も有意義な時間を過ごしたようです。北海道ならではのウィンタースポーツです。怪我に注意しながらもそれぞれの「ワクワク」を高めていってほしいと思います。

## 一日体験入学・入学説明会！

1月27日に現小学校6年生と保護者をお迎えし、入学説明会を行いました。校長先生から歓迎の言葉や、中学校での学習・生活について情報を提供しました。その後実際の授業の様子を参観し、体験しました。放課後は各部活動に見学・体験し、楽しみ、来年度への期待をふくらませたようでした。新年度の西興部中学校は今よりも人数が減りますが、西中魂はしっかりと引き継がれていくと感じています。



## 生徒会活動「短歌俳句コンテスト」開催中

この冬休み学芸委員会主催で生徒会自治活動として短歌俳句コンテストが開催されています。学校を離れた時間の中で、生徒自身が「言葉で思いを表現する場」を企画運営していることは大変意義深い取組です。作品からは日常の一場面を見つめる視点や季節への感性、言葉を大切に選ぼうとする姿勢が伝わってきます。互いの作品に触れあうことで新たな気づきや学びが生まれてくる点も自治活動ならではの素晴らしいところですね。

### 第3回いじめアンケートの結果について（1月実施）

今年度3回目の「いじめ把握のためのアンケート調査」の結果が出ました。主な内容は以下の通りです。

「あなたは今年度の4月から今日まで嫌な思いをしたことがありますか」 ⇒ある0人、ない19人

「あなたは嫌な思いをした時誰に相談しますか」

⇒学校の先生5人、友人9人、家族15人、だれにも相談しない5人

「あなたは、いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか」

⇒そう思う18人、そう思わない0人、よくわからない1人

令和7年度本校のグランドデザイン（学校のホームページより閲覧できます）より「めざす生徒像」として「心づくり（德育）」を掲げています。「心づくり」は学校だけでは成り立ちません。地域・家庭のサポートが今回も数値となって現れているのだと思います。ありがとうございます。今後も引き続き、子どもたちの成長を温かくご支援いただければと思います。